

## ▲▽活動方針の具現化に向けて▽▲

### 全国大会の決定事項を申し入れ

第83回定期全国大会で決定された第78年度活動方針書に基づき、昨年の12月22日と23日に、海事振興連盟・関係省庁・政党などに対し、全国海友婦人会との共同申し入れを行った。申し入れには、松浦満晴組合長をはじめ、関係する各部門の職場委員が参加、自由民主党の衛藤征士郎衆議院議員（組合名誉政治参与・海事振興連盟会長）にご同行いただいた

#### 防衛省

組合より、自衛隊によるソマリア沖アデン湾での海賊対処行動、中東地域における日本関係船舶の安全確保に必要な情報収集活動に改めて謝意を示した上で、引き続きの船員・船舶の航行安全確保のための活動を要請した。

浜田靖一防衛大臣からは、ソマリア沖に初めて海賊対処部隊を派遣した際にも防衛大臣であったことから、本件に関し強い関心を持っており、海賊対処行動の1年間の延長もさせていただいている。申し入れ趣旨は理解していることから、しっかりとできる対応を行いたいとの考え方を示された。

#### 農林水産省

組合より、申し入れの重点事項として、海難事故の撲滅と安全な漁業労働環境の実現、わが国の漁船漁業による漁業生産量の拡大、日本人漁船員の後継者確保・育成対策、情報通信インフラ整備などを要請した。

野村哲郎農林水産大臣より、わが国の水産業とその発展、それを支える漁船員への謝意が示されたほか、後継者の確保・育成は一次産業において最も重要なことであり、いかに人材を確保していくかが課題と認識している。海難事故の撲滅等についても現場の皆さんの安全が確保されるよう対応していきたいとの考え方を示された。また、情報通信インフラの整備をはじめとした船内環境の改善による若年漁船員確保の必要性などについては、意見交換の中で理解を深めた。

「海員だより」